

内容は水産研究課ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suisan/> で公開され、原則として毎週月曜日夜間に更新します。

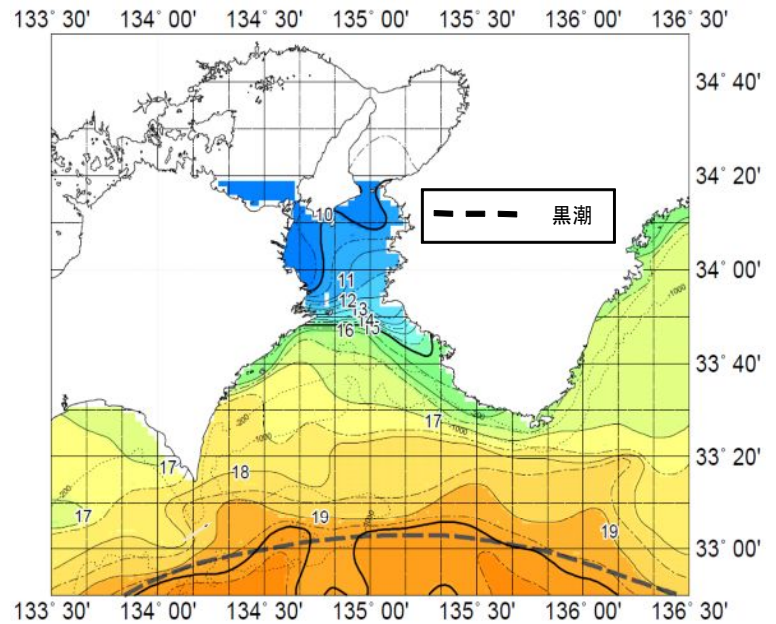
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H26.3.10）を示した。

黒潮は、室戸岬沖及び潮岬沖でやや離岸している。

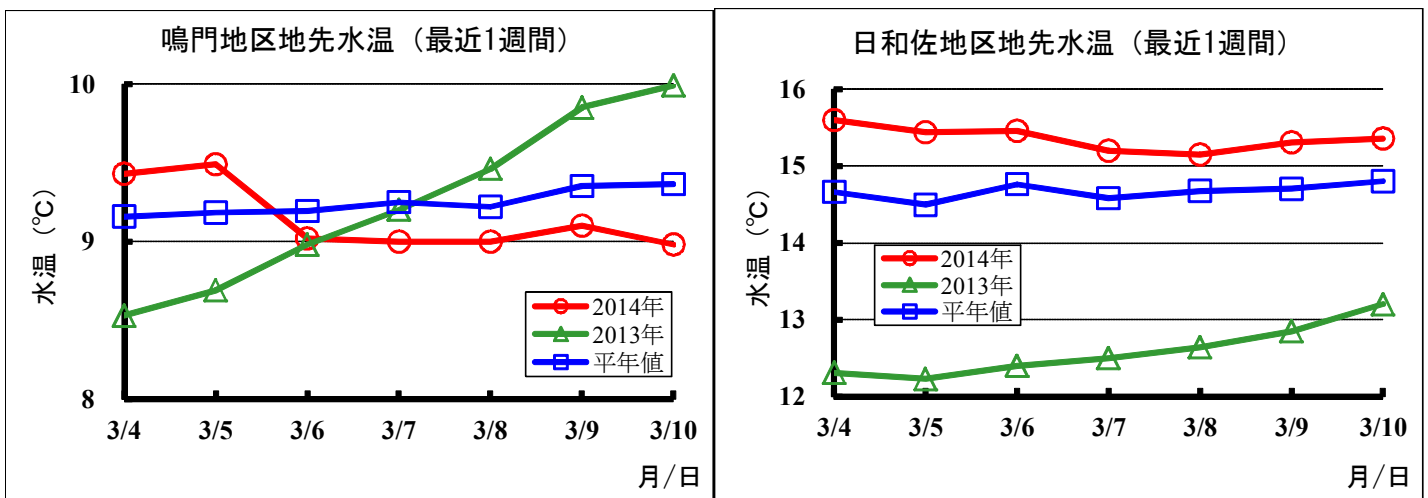
黒潮本流の表面水温は、19～20℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で9℃台、紀伊水道で9～12℃台、海部沿岸で13～17℃台である。紀伊水道外域への顕著な暖水流入は確認できない。蒲生田岬から日ノ御埼にかけて、内海系水と黒潮系暖水との潮境が確認できる。



漁業調査船「とくしま」で3月7日に行った播磨灘海区の海洋観測では、表層～30m層において「平年並」の8.9～9.0℃であった。

播磨灘海区観測結果

観測日	水 温				塩 分				
	表層	10m	20m	30m	表層	10m	20m	30m	
3/7	今年値	8.9	8.9	8.9	9.0	32.3	32.3	32.3	32.3
	平年偏差	-0.2	0.0	0.0	0.1	-0.4	-0.5	-0.5	-0.5
	前年偏差	0.0	0.5	0.5	0.6	0.0	0.0	-0.1	0.0



地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並」の9.0～9.5℃、日和佐地区は「やや高め」の15.2～15.6℃、牟岐地区は「やや高め」～「高め」の15.5～16.6℃で推移した。

* 水温偏差の目安

平年並：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

* 平年値 鳴門地区：1981～2010年の平均値、日和佐地区：1982～2010年の平均値

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で、大主体にキダイが0.6トン（1日1隻あたり17kg）、カワハギが0.5トン（同48kg）、大主体にサバフグが0.6トン（同43kg）水揚げされた。

建網：海部沿岸で、中主体にヒラメが0.5トン（同6kg）、ブリが0.6トン（同14kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、小主体にマルアジが0.6トン（同35kg）、6～7cm主体のカタクチイワシが2.5トン（同108kg）、キビナゴが0.2トン（同12kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸で、8～9cm主体のマイワシが4.6トン（同766kg）、メジロが0.4トン（同66kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、特大主体にマサバが0.7トン（同92kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 2014年3月3日～2014年3月9日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	キダイ	37	632	17	大主体
		カワハギ	11	531	48	
		サバフグ	14	596	43	大主体
建網		ヒラメ	83	466	6	中主体
		ブリ	41	568	14	
小型定置網		マルアジ	17	587	35	小主体
		カタクチイワシ	23	2,479	108	6～7cm主体
		キビナゴ	19	228	12	
大型定置網		マイワシ	6	4,593	766	8～9cm主体
		メジロ	6	396	66	
釣り		マサバ	8	732	92	特大主体

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年3月4日～3月10日には、海部沿岸では、延縄で、中主体にアカムツが0.2トン、中主体にアマダイが0.3トン、大主体にキダイが0.4トン、大主体にサバフグが0.5トン、建網で、メジナが0.3トン、小主体にカサゴが0.2トン、小型定置網で、カタクチイワシが3.6トン、キビナゴが1.4トン、小主体にマルアジが0.3トン、アオリイカが0.5トン、スルメイカが0.2トン、大型定置網で、ブリが0.5トン（同78kg）、中主体にスルメイカが0.6トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖及び潮岬沖において「やや離岸」～「接岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「平年並」の9℃台、日和佐地先で「平年並」～「やや高め」の15℃台で推移する見込み。